



被爆の実相とデジタルアーカイブ 新たな継承の体験

【日 時】 2018年9月18日(火)

<受付> 12:30

<時間> 13:00~15:00

【会 場】 東京大学本郷キャンパス
情報学環本館地下1階
中山未来ファクトリー

【参加費】 500円

【主 催】 ノーモア・ヒバクシャ
記憶遺産を継承する会

【協 力】 ・日本生活協同組合連合会
・東京大学大学院情報学環
渡邊英徳研究室

【お申込】 下記からお申込ください
<締切> 8月31日まで

<https://business.form-mailer.jp/lp/5e8e326688575>



戦後72年が過ぎ、被爆者の平均年齢は80歳を超えました。被爆者自身が証言活動を行うことが年々難しくなっており、被爆の実相を後世に伝えることが喫緊の課題です。

その手法の1つにデジタルアーカイブがあります。被爆時の体験談や写真などを地図データと重ねあわせることで、被爆の実相について多面的・総合的に理解することができます。

今回は被爆者の思い出の写真やモノをもとに、被爆者の人生により添いながら、交流します。そして交流を通して感じた思いを、デジタルアーカイブを通じて発信します。

被爆者の話を聴いてみたい、交流したい方、デジタルアーカイブという新しい「継承」活動を知りたい方など、多くの方の参加をお待ちしております。

【会場アクセス】

<https://openstudio-utokyo.com/access/>

本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線)	徒歩12分
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩13分
湯島駅 (地下鉄千代田線)	徒歩22分
東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩15分